

■ 代表者のことば

「今」を未来へつなぐ歴史の教科書

「昔のことを勉強して、今の自分たちの役に立つの?」。これは恐らく、歴史を学ぶ場で何度も繰り返されてきた質問でしょう。過去は現在の私たちと無関係のことと思われがちですが、現在から未来へ進むためには、まず「今」の私たちの立ち位置を確認する必要があります。その位置を時間の流れの中で確かめるのが「歴史」です。自分の歩いてきた足跡が、ふり返ってみてはじめてわかるように、「今」がどのような社会なのかは、過去への「ふり返り」によって確認できるのです。

こうした「ふり返り」は、学びの中でも重要です。この教科書では、生活環境や興味・関心が異なる多様な子どもたちの個別最適な学びを実現するために、あらゆるタイミングで学習の流れを確認できるよう工夫をしています。具体的には、分かりやすい誌面構成で学習の流れを可視化するとともに、ICTの活用によりさまざまな学びの場を実現することに努めています。

また、子どもたちが考えを整理しやすいように、内容を明確に伝えることを重視しました。一つ一つのことばを厳選し、子どもたちの視線を意識しながら丁寧に叙述することを心がけています。

この教科書で学ぶ子どもたち一人一人が、過去との対話を通じて現代的な諸課題を認識し、さらに未来へ向けて考えを深めてくれることを期待しています。



高橋 慎一郎 (たかはし しんいちろう) 東京大学史料編纂所教授 1964年生。東京大学文学部 国史学科卒業。博士(文学)。日本中世史専攻。 ■著書/『中世の都市と武士』、『日本史リブレット 武家の古都、鎌倉』ほか。

■ 編集に携わった人々

●代表

島津 弘 立正大学教授

●顧問

荒井 正剛 東京学芸大学特任教授  
関 裕幸 東京都立小石川中等教育学校主任教諭

- 秋澤 夢子 いの町立伊野中学校教諭
五十嵐辰博 千葉大学教育学部附属中学校教諭
石高 吉記 埼玉大学教育学部附属中学校教諭
今村 吾朗 練馬区立石神井西中学校主任教諭
入子 彰子 元文京区立音羽中学校指導教諭
岩本 鷹薫 福井市明倫中学校教諭
上園 悦史 東京学芸大学附属竹早中学校教諭
江口麻衣子 新潟市立内野中学校教諭
江間 史明 山形大学教授
大石 太郎 関西学院大学教授
緒方 浩臣 横浜市立港中学校校長
岡部 誠 板橋区立志村第一中学校校長
大西 弘員 広島大学附属東雲中学校教諭
小野 大助 福山市立神辺中学校教頭
勝田 俊輔 東京大学教授
鎌倉 夏来 東京大学准教授
唐木 清志 筑波大学教授
河野真理子 早稲田大学教授
木村 博一 広島大学名誉教授
草原 和博 広島大学教授
久保 五月 高知県立高知国際中学校教諭
栗原 久 東洋大学教授
呉羽 正昭 筑波大学教授
小谷 勇人 春日部市立武里中学校教諭
兒玉 修 九州保健福祉大学学長
小林 大介 蕪市教育委員会指導主事
近藤 晃史 福山市立理想青学園教諭
近藤沙耶香 港区立港南中学校主任教諭
今野日出晴 岩手大学教授
佐川 英治 東京大学教授
佐久間敦史 大阪教育大学准教授
迫 真也 広島市立紙園中学校教諭
佐々木智章 早稲田大学高等学院教諭
佐藤 弘直 厚木市立依知中学校教諭
佐藤 全敏 東京女子大学教授
重 秀雄 広島市立中広中学校主幹教諭
篠田 穰 福岡教育大学附属福岡中学校主幹教諭
篠塚 昭司 東京学芸大学附属世田谷中学校主幹教諭
白澤 保典 東村山市立東村山第四中学校主任教諭
須釜 昇平 八千代市立村上東中学校教諭

高橋 慎一郎 東京大学史料編纂所教授

矢ヶ崎典隆 東京学芸大学名誉教授 小原 友行 福山大学教授 坂上 康俊 九州大学名誉教授
戸波 江二 早稲田大学名誉教授 関宮 陽介 京都大学名誉教授

- 菅谷 昌弘 札幌市立平岡緑中学校教頭
薄田 和弥 札幌市立元町中学校教諭
鈴木 拓磨 豊島区立千登世橋中学校主幹教諭
関戸 明子 群馬大学教授
関 真規子 文京区立第六中学校指導教諭
瀬戸 康輝 広島市立大塚中学校教諭
早福 孝雄 新潟市立高志中等教育学校教諭
高田 史 足立区立東綾瀬中学校指導教諭
高橋 晶 千葉大学教育学部附属中学校教諭
高橋 達弥 足立区立第十四中学校主幹教諭
高山 知機 世田谷区立太子堂中学校校長
田崎 義久 東京学芸大学附属小金井中学校教諭
田中 将吾 福山市立済美中学校教諭
田中 伸 岐阜大学准教授
谷藤 良昭 千葉県立福毛国際中等教育学校教諭
千葉 功 学習院大学教授
千葉 一晶 調布市立第四中学校副校長
坪田 益美 東北学院大学准教授
寺本 誠 お茶の水女子大学附属中学校教諭
土肥大次郎 長崎大学准教授
豊嶋 啓司 福岡教育大学教授・副学長
内藤 圭太 東京学芸大学附属竹早中学校教諭
中尾 学 台東区立上野中学校主幹教諭
中北 浩爾 中央大学教授
中平 一義 上越教育大学教授
中村 達矢 福岡市立金武中学校教諭
晃介 福井市光陽中学校教諭
新坂 大輔 清瀬市立清瀬第二中学校主幹教諭
服部 一秀 山梨大学教授
濱田 幸伸 高知大学教育学部附属中学校教諭
濱本 大悟 江東区立深川第八中学校主任教諭
東野 茂樹 葛飾区立堀切中学校副校長
藤井 辰典 松原市立松原中学校教諭
藤瀬 泰司 熊本大学教授
藤田 詠司 高知大学教授
藤田 淳一 東村山市立東村山第二中学校主幹教諭
藤原 弘 愛媛大学准教授
星野 勇悟 大東市立四条小学校首席
細野 悠司 埼玉大学教育学部附属中学校教諭
前田 良介 福山市立培遠中学校教諭

- ICTの活用に関する校閲
稲垣 忠 東北学院大学教授
緒方 広明 京都大学教授
小柳和喜雄 関西大学教授
小崎 誠二 奈良教育大学客員准教授
泰山 裕 鳴門教育大学大学院准教授
寺澤 孝文 岡山大学教授
●特別支援教育に関する校閲
田中 良広 帝京平成大学教授
道面 美紀 墨田区立本所中学校指導教諭
ほか1名
東京書籍株式会社
●色彩デザインに関する編集協力
色覚問題研究グループぱずてる

東京書籍

本社 〒114-8524 東京都北区堀船2-17-1
支社・出張所 Tel:03-5390-7373(社会編集部) Fax:03-5390-6015
札幌 011-562-5721 仙台 022-297-2666 東京 03-5390-7467
金沢 076-222-7581 名古屋 052-950-2260 大阪 06-6397-1350
広島 082-568-2577 福岡 092-771-1536 鹿児島 099-213-1770
那覇 098-834-8084
ホームページ https://www.tokyo-shoseki.co.jp
教育情報サイト 東書Eネット https://ten.tokyo-shoseki.co.jp

教科書活用 Q&A更新中!



\*「QRコード」は株式会社デンソーウェブの登録商標です。

東京書籍

パンフ+αの情報を特設サイトで!

東京書籍 中学校 歴史



この資料は、令和7年度用中学校教科書の内容解説資料として、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則っております。



新編 新しい社会 歴史

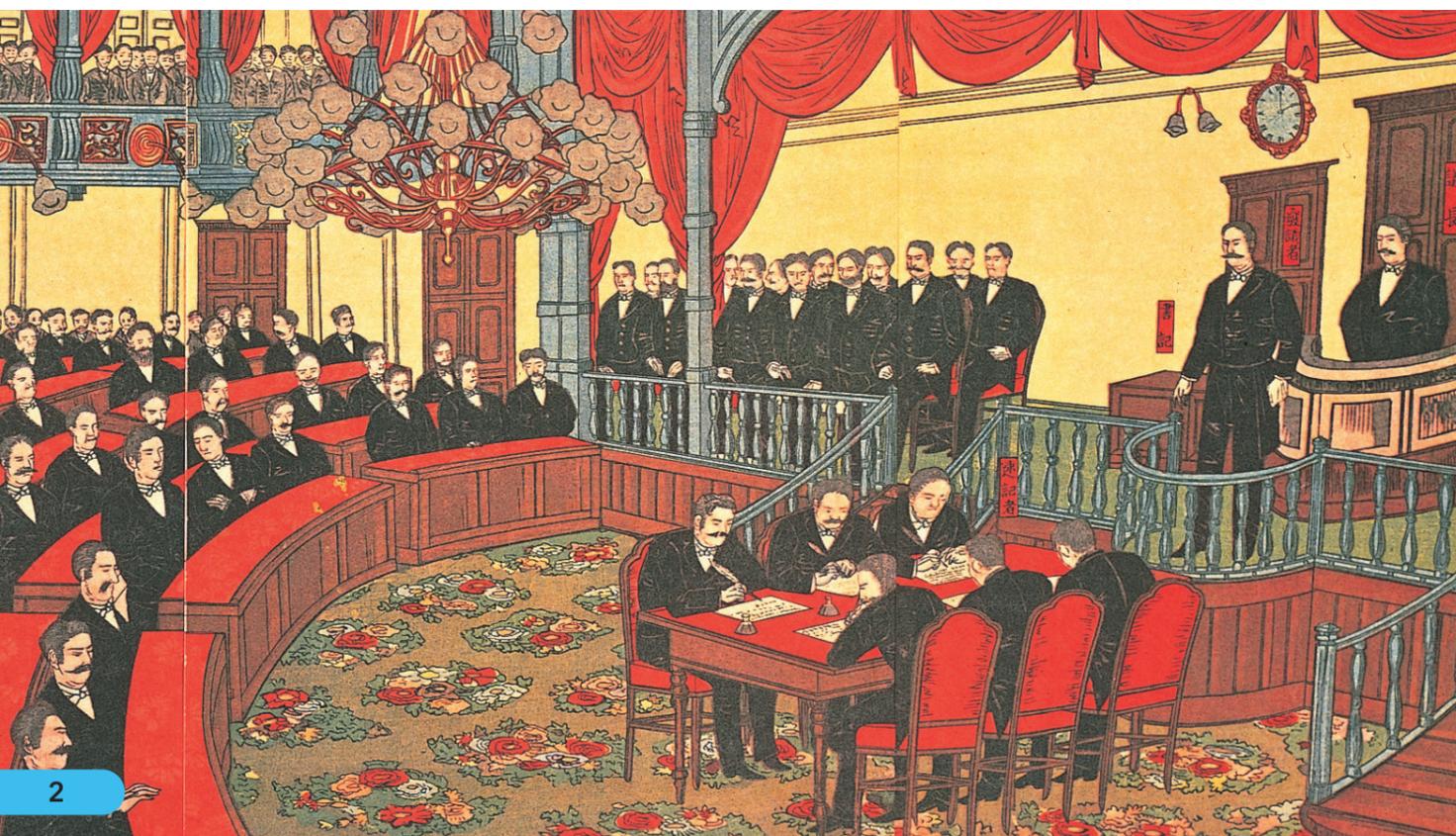


東京書籍

中学校社会科用 文部科学省検定済教科書 2 東書 歴史002-72



今と向き合い、持続可能な社会の実現に向けて  
「これからの社会を 生き抜く力」を育む



# 「新編 新しい社会 歴史」3つの特色

特色

1

課題解決的な学習に  
わくわくをプラス!



わくわくを誘う 学びの入り口 ..... 8  
1時間の学習の流れを「見える化」 ..... 12  
学びを実感! 学習のまとめ ..... 14

特色

2

紙とデジタルで  
学びがアップデート!



さまざまなシーンに最適な  
QRコンテンツ ..... 18  
多彩なQRコンテンツで  
学びをサポート ..... 20

特色

3

生徒一人一人と  
社会がつながる教科書



一人一人の資質・能力を育てる工夫 ..... 22  
今と向き合い これからを考える教科書 ..... 24  
誰一人取り残されない学びのために ..... 26

「新編 新しい社会 歴史」の  
編集にあたって  
— 編集部からのメッセージ —



この教科書は課題を自分たちで見つけ、考え、伝えるというプロセスを大切にしながら、現代社会につながる歴史を学んでほしいとの思いで、多くの人たちの力を集めて作られました。人類の出現から現在に至るまでの出来事を学び、私たちが生きる「今」のどこに課題があるのか、それはなぜ起こっているのか、どうしたら解決に向かうのか、これからの社会の在り方までを一緒に考えられるように紙面を工夫しました。中学生のみなさんに、歴史自体の面白さ、また歴史との対話によって現代の諸課題の理解が深まることの面白さを感じてもらえることを願っています。

目次

教科書の構成と学びの流れ ..... 6	教師用指導書・学習者用デジタル教科書のご案内 ..... 28
特色① 課題解決的な学習にわくわくをプラス! ..... 8	観点別特色一覧 ..... 30
特色② 紙とデジタルで学びがアップデート! ..... 18	単元構成と配当授業時数 ..... 35
特色③ 生徒一人一人と社会がつながる教科書 ..... 22	代表者のことば

「問い」を中心に課題解決的な学習を実現!

# 教科書の構成と学びの流れ

単元のまとまりを意識して深い学びにつなげることができるよう、単元を貫く**探究課題**を設定しました。1時間ごとの**学習課題**と探究課題をつなぐ踊り場の問い(探究のステップ)を設けることで、段階を踏んでスムーズに探究課題を解決できる構成になっています。

## 問いの構造イメージ



## 課題をつかむ

### 導入

動機付け

方向付け

導入の活動では、章の学習を通して追究する「探究課題」を設定します。生徒が自ら課題を設定することで、学習の動機付けや学習の見通しの方向付けを行います。



**探究課題**  
章を貫く問い

▶ 本書 p.10~11

## 課題を追 究する

### 展開

情報収集

考察

展開では、歴史に関わる事象の**意味や意義、文化の特色、歴史に見られる課題**などを、歴史的な見方・考え方を働かせながら多面的・多角的に考察していきます。



**学習課題**  
1時間の問い

**チェック&トライ**  
1時間の振り返り

▶ 本書 p.12~13

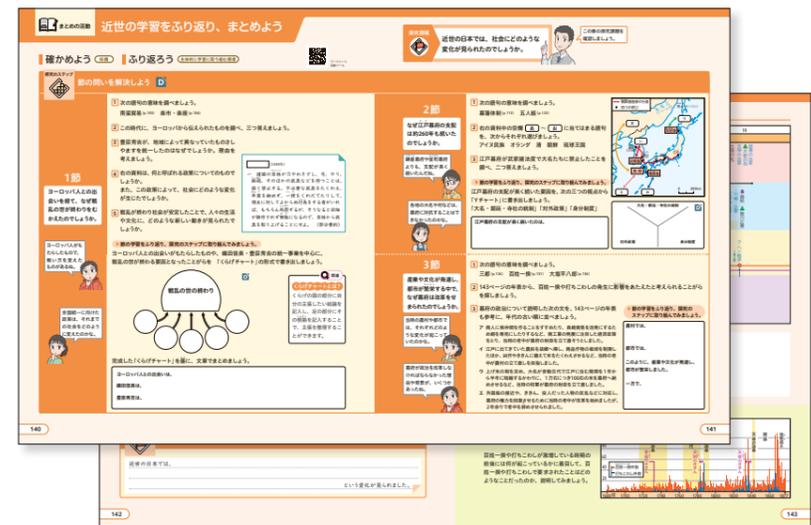
## 課題を解決する

### まとめ

振り返り

まとめ

これまで学んだことを振り返り、思考・判断したことを自分の言葉で説明したり議論して、「探究課題」の解決に取り組みます。



**探究のステップ**  
節の問いの解決

**探究課題**  
章を貫く問いの解決

▶ 本書 p.14~17

# わくわくを誘う 学びの入り口

## 第4章 近世の日本

教科書 p.98~99の  
実寸大



導入の活動

### 近世の社会の様子をとらえよう

小学校の社会で習ったことば

鉄砲 キリスト教 楽市・楽座 検地 刀狩 江戸幕府  
参勤交代身分 鎖国 歌舞伎 浮世絵 蘭学 国学

この船は、どこへ向かうのかな。



自然な疑問や  
気づきから課題を設定し、  
学びの見通しを  
持てるのじゃな!



1 南蛮人の来航 (狩野内膳筆 南蛮人渡来図屏風 兵庫県 神戸市立博物館蔵) 小学校



2 江戸城 (江戸図屏風 千葉県 国立歴史民俗博物館蔵) 小学校

こんな人を見つけたよ。  
みんなも探してみよう。



### みんなでチャレンジ

比較 関連

- 個人活動 1 2にはどのような人々がえがかれているか、それぞれ読み取りましょう。
- グループ活動 1でえがかれている様子と関連の深いイラストを、右ページの年表から選び、どのような関連があるのか説明しましょう。
- グループ活動 1~7の資料を参考にしながら、前の時代と比べて、この時代になって変化していること、変化せずに続いていることはそれぞれ何か、話し合しましょう。

第4章「近世の日本」では、南蛮人渡来図屏風や江戸図屏風などの資料を読み取り、

前の時代と比較しながら、探究課題を設定します。

それぞれの章ごとに、探究課題の設定につながる資料の精選、活動内容の吟味を徹底しました。

この章で学ぶ時期・年代 14~16世紀のヨーロッパ / 戦国時代(16世紀) ▶ 江戸時代(幕末)

世紀	15	16	17	18	19
時代	戦国時代 室町時代		安土桃山時代	江戸時代	



4 参勤交代の行列 (石川県立歴史博物館蔵)

小学校



5 歌舞伎 (18世紀半ば) (東京都 平木浮世絵財団蔵)

小学校



6 新しい農具 (東京大学史料編纂所蔵)

小学校

7 打ちこわしの様子 (幕末江戸市中騒動図 東京国立博物館蔵)



中世の日本と似たところもあるけれど、いろいろな変化がありそうだよね。



### 第4章で探究する問いは?

探究課題



近世の日本では、社会にどのような変化が見られたのでしょうか。



この章では、まず、ヨーロッパ世界の変化と、それが日本にあたえた影響を追究していきましょう。そのうえで、江戸幕府の支配がなぜ長く続き、社会にどのような変化が見られたのか、武士以外の身分にも着目しながら追究することを通して、時代の特色をとらえましょう。

探究のステップ



各節の学習では、次の課題を追究していきましょう。

1節

ヨーロッパ人との出会いを経て、なぜ戦乱の世が終わりをむかえたのでしょうか。



鉄砲やキリスト教の伝来は、戦国時代から江戸時代への移り変わりに何か関係があるのかな。

2節

なぜ江戸幕府の支配は約260年も続いたのでしょうか。

年表を見ると、江戸時代の長さが目立つね。江戸時代は、なぜそんなに長く続いたのかな。



3節

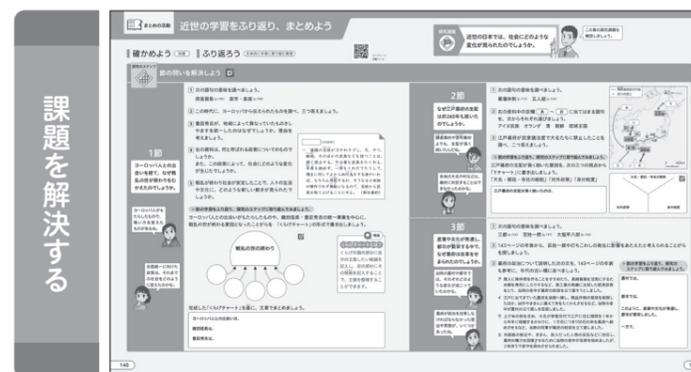
産業や文化が発達し、都市が繁栄する中で、なぜ幕府は改革をせまられたのでしょうか。



武士以外の身分の人たちは、幕府の支配や社会の変化の影響を受けていたのかな。

# 主体的な学びにつながる 導入ページ

単元の導入では、活動を通して、生徒が **主体的に学びに向かえる** ようにしました。  
**単元を貫く探究課題の設定** へスムーズに導き、単元の学習の見通しを持つことができます。



▼ p.98~99

## 第4章 近世の日本

導入の活動 近世の社会の様子をとらえよう

小学校の社会で習ったことば 鉄砲 キリスト教 楽市・楽座 検地 刀狩 江戸幕府 参勤交代身分 鎖国 歌舞伎 浮世絵 蘭学 国学

この船は、どこへ向かうのかな。

### 小学校の振り返り

小学校の社会で習ったことば 鉄砲 キリスト教 楽市・楽座 検地 刀狩 江戸幕府 参勤交代身分 鎖国 歌舞伎 浮世絵 蘭学 国学

小学校社会科で学習した用語は「小学校の社会で習ったことば」として掲載しました。また、小学校社会科の教科書に掲載されている資料には「小学校マーク」を付しました。

南蛮人の来航 (狩野内膳筆 南蛮人渡来図屏風 兵衛)

### みんなでチャレンジ

- (1) **個人活動** 1 2にはどのような人々がえがかれているか、それぞれ読み取りましょう。
- (2) **グループ活動** 1でえがかれている様子と関連の深いイラストを、右ページの年表から選び、どのような関連があるのか説明しましょう。
- (3) **グループ活動** 1~7の資料を参考にしながら、前の時代と比べて、この時代になって変化していること、変化せずに続いていることはそれぞれ何か、話し合しましょう。

こんな人を見つけたよ。みんなも探してみよう。

### 個人活動とグループ活動の相互作用で学びを深める「みんなでチャレンジ」

小集団の協働的な活動コーナーとして「みんなでチャレンジ」を設けました。深い学びにつながるため、**個人活動**と**グループ活動**を明示しました。

この章で学ぶ時期・年代 14~16世紀のヨーロッパ / 戦国時代(16世紀) ▶ 江戸時代(幕末)

世紀	15	16	17	18	19
時代	室町時代	戦国時代	安土桃山時代	江戸時代	

4 参勤交代の行列 (石川県立歴史博物館蔵) 小学校

5 歌舞伎 (18世紀半ば) (東京都 早稲田大学蔵) 小学校

6 新しい農具 (東京大学史料編纂所蔵)

7 打ちこわしの様子 (幕末江戸市中 中野区蔵 東京国立博物館蔵) 小学校

中世の日本と似たところもあるけれど、いろいろな変化がありそうだよね。

リニューアル

### キャラクター年表

小学校社会科で学習した人物キャラクターを中心にした年表によって、小学校のレディネスを生かしながら、これから学習する時代を見通すことができますようになりました。

リニューアル

### 第4章で探究する問いは?

探究課題 近世の日本では、社会にどのような変化が見られたのでしょうか。

探究のステップ 各節の学習では、次の課題を追究していきましょう。

- 1節 ヨーロッパ人との出会いを経て、なぜ戦乱の世が終わりをむかえたのでしょうか。
- 2節 なぜ江戸幕府の支配は約260年も続いたのでしょうか。
- 3節 産業や文化が発達し、都市が繁栄する中で、なぜ幕府は改革をせまられたのでしょうか。

この章では、まず、ヨーロッパ世界の変化と、それが日本にあえた影響を追究していきましょう。そのうえで、江戸幕府の支配がなぜ長く続き、社会にどのような変化が見られたのか、武士以外の身分にも着目しながら追究することを通して、時代の特色をとらえましょう。

鉄砲やキリスト教の伝来は、戦国時代から江戸時代への移り変わりに何か関係があるのかな。

年表を見ると、江戸時代の長さが目立つね。江戸時代は、なぜそんなに長く続いたのかな。

武士以外の身分の人たちは、幕府の支配や社会の変化の影響を受けていたのかな。

### 単元全体を見通せる!! 探究課題の解決への着目点を対話形式で提示

単元全体を学んでいくうえでの見通し、探究課題・探究のステップの解決に向けてヒントとなる着目点を、キャラクターのセリフで対話的に示しました。

▶ 導入ページのQRコンテンツについては、本書p.18~19をご覧ください。

課題解決的な学習にわくわくをプラス!

# 1時間の学習の流れを「見える化」

本文や資料、「チェック&トライ」、年表スケールインデックスやQRコードなど、紙面の要素を定位置に配置。学習の流れを「見える化」したことで全ての生徒にとって学習に取り組みやすい紙面にしました。



## 1時間の学習の流れ

### 1 導入資料

1時間の課題をつかむきっかけとなる資料を大きく掲載しています。

### 2 学習課題

このページで学習する内容について、見通しを持つことができます。

### 3 本文

学習内容を分かりやすく文章にしています。重要な用語などは太字で示しています。

### 4 チェック&トライ

1時間の学習の最後に取り組んで、学んだことをふり返ります。

新設 NEW

### 生徒の興味・関心を誘うサブタイトル

意識が変わる、宗教が変わる

本時の内容の上に、生徒の興味・関心を誘うサブタイトルを設けました。

新設 NEW

### QRコードを定位置に掲載!

学習課題やタイトルの隣にQRコードを掲載。定位置に置くことで、迷わずにいつでもQRコンテンツを活用できます。

紙面上はこのマークが目印!



詳しくは、本書p.20~21をご覧ください。

p.100~101

## 1 節 ヨーロッパ人との出会いと全国統一



1 キリシヤ・ローマ神話の三女神をえがいた絵(古代:イタリア ナポリ国立考古学博物館蔵、中世:イギリス 大英図書館蔵、ルネサンス:ポッティチェリ「春」 イタリア ウフィツ美術館蔵)

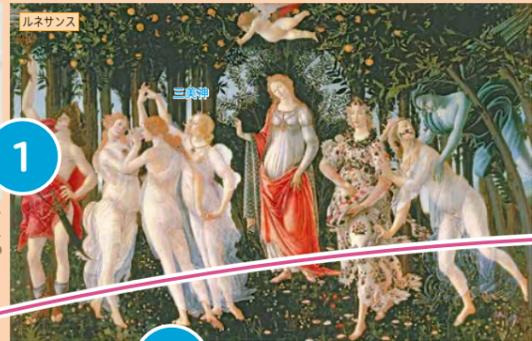
1の三つの絵の三女神を比べて、共通点と異なる点を挙げましょう。

### 1 意識が変わる、宗教が変わる



2 レオナルド・ダ・ビンチの「モナ・リザ」(フランス ルーヴル美術館蔵)

3 中世までのキリスト教では、人間は生まれながらにして罪を負った弱々しい存在とされてきました。古代ギリシャの文化は、イスラム世界経由(9.77)で伝えられました。古代ローマの文化は、各地の寺院に保存されていた古文書から明らかになりました。



3 ヨーロッパ世界の变化

2 ヨーロッパ世界の变化

### 2 学習課題

イスラム世界と接したヨーロッパ世界は、どのように変化したのでしょうか。

中世のヨーロッパでは、14世紀にペスト(黒死病)が大流行して、人口の3分の1近くが失われました。このため人々は、人の命や生きることの意味について、新しい考えを持ち始めました。その手がかりとなったのが、キリスト教との関係が薄れたために忘れられていた古代ギリシャとローマの華やかな文化でした。またレオナルド・ダ・ビンチやミケランジェロの作品に見られるように、身の人間を主眼とする美術や文学の作品が作られました。こうして、人間そのものに価値を認め、人のいきいきとした姿を表現するルネサンス(文芸復興)が開花しました。ルネサンスは主に都市の人々が進めた文化運動であり、当時豊かな都市が多かったイタリアで14世紀に始まって、16世紀にかけて西ヨーロッパ各地に広がりました。

宗教改革 16世紀の西ヨーロッパでは、キリスト教にも新しい動きがありました。ローマ教皇が、大聖堂建築のための資金を集めようとして免罪符を売り出すと、これを批判して、ドイツではルターが、スイスではカルバンが、宗教改革を始めました。両者は、教会の指導に従うのではな

4 チェック&トライ ルネサンスと宗教改革はどのような動きか、それぞれ本文から読み出しましょう。



4 ミケランジェロの「ダビデ」(イタリア アカデミア美術館蔵 高さ434cm)

5 (1)8で、現在の世界地図と比べて正確にえがかれている地域と、正確でない地域をそれぞれ挙げましょう。(2)(1)のちがいがなぜ生じたのか、考えましょう。

### 3 航海術の発達と科学革命

15世紀から16世紀のヨーロッパでは、羅針盤や天体観測に基づく航海術が進歩し、世界地図も作られ始めました。このため、ヨーロッパ人は遠洋に乗り出すことができるようになりました。また、17世紀には望遠鏡などの観測機械が発明されて、自然への探究が盛んになりました(科学革命)。ガリレイやニュートンらが天体や物質の運動法則を解明して、ヨーロッパの科学はイスラム世界に比べて世界最高水準となりました。

6 1490年にドイツで作られた世界地図(イギリス 大英図書館蔵)



7 マルティン・ルター(1483~1546) 8 ジャン・カルバン(1509~64)

9 宗教改革を中心になって進める

ルターとカルバンは、聖職者を特別な存在とは見なせず、教会の組織を改革しました。彼らの教えは、イギリスやフランス、オランダ、北ヨーロッパ、後のアメリカ合衆国にも広まりました。



10 1490年にドイツで作られた世界地図(イギリス 大英図書館蔵)



11 羅針盤 方位磁石のことで、中国で発明され、遠洋航海には欠かせないものでした。

リニューアル

### 整理された活動コーナー

1の三つの絵の三女神を比べて、共通点と異なる点を挙げましょう。

資料の読み取りを促す問いには、🔍を付けました。また、資料を読み取るうえでヒントとなる見方・考え方は、🔍で示しました。

▶ 本書p.22もご覧ください。

リニューアル

### 時代感覚を養う! 年表スケールインデックス

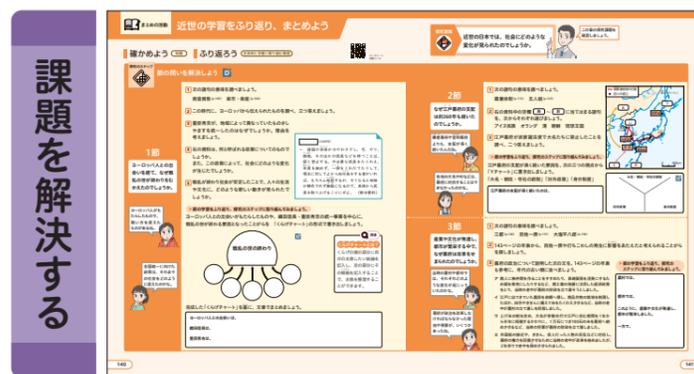
見開きで学習している時期を示す年表スケールをより大きくし、歴史全体の中での位置付けが把握しやすくなりました。

▶ 本文ページのQRコンテンツについては、本書p.18~19をご覧ください。

課題解決的な学習にわくわくをプラス!

# 学びを実感! 学習のまとめ

学習のまとめのページを大幅に見直しました。  
段階的に取り組むことで、単元を貫く探究課題の解決につなげます。  
問いを軸にした課題解決的な学習によって時代全体を大観することを目指します。



## 探究課題解決の流れ

**1 確かめよう**  
単元で学んだ知識を資料や思考ツールなどで確認します。

**2 振り返ろう**  
節の問い(探究のステップ)に取り組み、節ごとに学習を振り返ります。

**3 深めよう**  
思考ツールなどを用いて考えを整理し、探究課題の解決につなげます。

**4 探究課題を解決しよう**  
3でまとめた自分の考えをもとに、探究課題の解決に取り組みます。

p.140~141

近世の学習を振り返り、まとめよう

**1 確かめよう** 節の問いを解決しよう

1 次の「**節の問い**」の意味を調べよう。  
 ① 戦乱の世が終ったのはなぜか。  
 ② 戦乱の世が終った後、社会はどのように変わったか。  
 ③ 戦乱の世が終った後、人々の生活や文化に、どのような新しい動きが見られたか。

2 節の問いを解決しよう

1 次の「**節の問い**」の意味を調べよう。  
 ① 幕府体制が長く続いたのはなぜか。  
 ② 幕府体制が長く続いたのは、なぜか。  
 ③ 幕府体制が長く続いたのは、なぜか。

3 節の問いを解決しよう

1 次の「**節の問い**」の意味を調べよう。  
 ① 幕府体制が長く続いたのは、なぜか。  
 ② 幕府体制が長く続いたのは、なぜか。  
 ③ 幕府体制が長く続いたのは、なぜか。

p.142~143

近世の学習を振り返り、まとめよう

**3 深めよう** フィッシュボーン図を使って、社会の変化をとらえよう

1 次の「**節の問い**」の意味を調べよう。  
 ① 幕府体制が長く続いたのは、なぜか。  
 ② 幕府体制が長く続いたのは、なぜか。  
 ③ 幕府体制が長く続いたのは、なぜか。

2 年表でこの時代を振り返ろう

1 上の年表の空欄 **A** ~ **E** に当てはまる語句を、次からそれぞれ選びましょう。  
 身分制度 鎖国 参勤交代 キリスト教  
 2 「**戦乱の世**」が「**戦乱の世**」と結びつけている理由を説明しましょう。  
 3 「**幕府の繁栄**」と「**町人の台頭**」が矢印で「**元禄文化**」へと結びつけている理由を説明しましょう。

新設 NEW

### 評価の観点の明示

「知識」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」のアイコンを示し、評価の観点との関連が分かりやすくなりました。

知識 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

### 探究のステップを積み重ねて章のまとめへ

### 節の問いを解決しよう

キャラクターの吹き出しをヒントにしながら、思考ツールを使って節のまとめができるコーナーです。ステップを踏むことで、章のまとめ「深めよう」や探究課題の解決にスムーズに向かうことができます。

### 思考ツールが言語化をサポート!

### 探究課題を解決しよう

探究課題を解決し、自分の言葉で表現するコーナーです。対話的な活動と思考ツールが解決へと導きます。

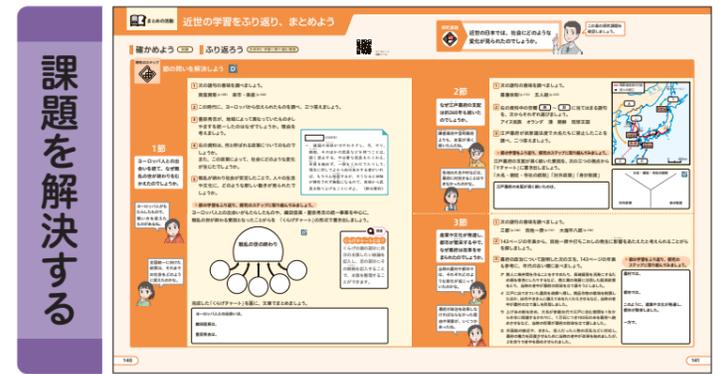
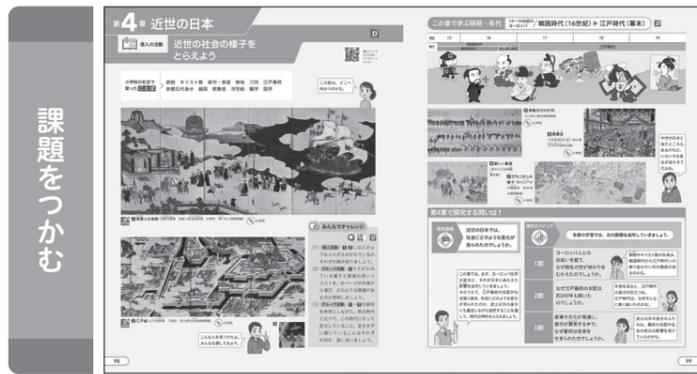
▶ 本書 p.16~17もご覧ください。

▶ まとめページのQRコンテンツについては、本書 p.18~19 をご覧ください。

課題解決的な学習にわくわくをプラス!

# 多様なツールで思考を整理

まとめページでは、自らの思考を整理するさまざまなツールを用意しました。紙の教科書とQRコンテンツを組み合わせることで、より多様な活動が展開できるようになりました。



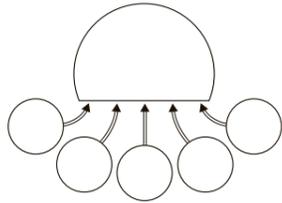
## 「新編 新しい社会 歴史」に掲載の思考ツール

▶ 節の学習をふり取り、探究のステップに取り組んでみましょう。

くらげチャートの足の部分に、日本で近代化が進んだ理由を入れてみましょう。

くらげチャートとは? [関連](#)

くらげの頭の部分に自分の主張したい結論を記入し、足の部分にその根拠を記入することで、主張を整理することができます。



▶ p.199 「くらげチャート」を活用した探究のステップの解決例

自分の考えが目に見える形になると整理しやすくなるのよ



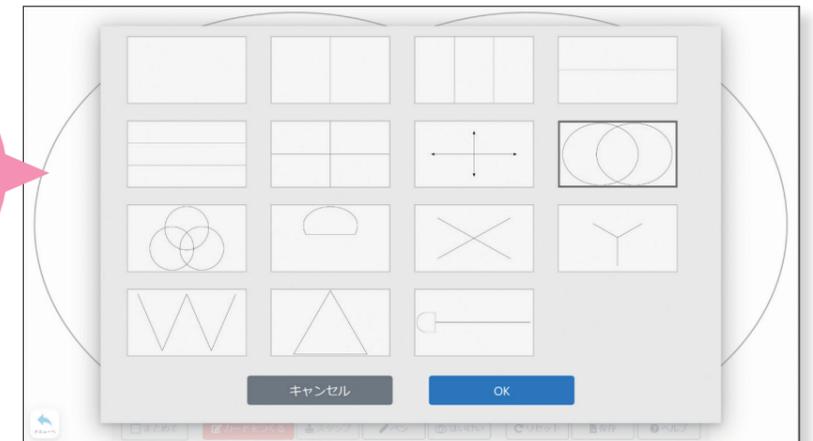
## QRコンテンツでも思考ツールが充実!

教科書に示した思考ツール以外にも選択できるので、自分なりの方法で思考を整理することができます。

▶ 本書p.19もご覧ください。

使いたい思考ツールを自由に選べる!

こちらから実際に試せます



思考ツールの解説も充実! 探究のステップ・探究課題の解決がよりスムーズに!

ステップチャートとは? [推移](#)

出来事が起こった順につなぐことで、出来事の推移を分かりやすく整理することができます。

▶ p.94「ステップチャート」

ピラミッドランキングとは? [比較・関連](#)

さまざまな事項を重要だと考える順番に並べることで、事項を整理したり評価したりでき、特に重要度が高いものをしぼりこむことができます。

▶ p.272「ピラミッドランキング」

### 教科書に掲載の主な「思考ツール」

教科書ページ	内容
P.60	ウェビング
P.62	ステップチャート
P.96	Xチャート
P.140	くらげチャート
P.142	フィッシュボーン図
P.200	コンセプトマップ
P.242	くま手チャート
P.271	ツールミン図式
P.272	ピラミッドランキング

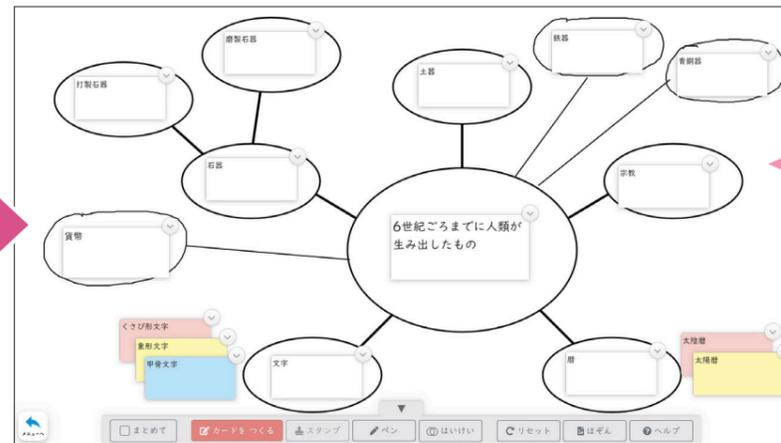
▶ p.60「ウェビング」を活用した探究のステップの解決例

▶ 節の学習をふり取り、探究のステップに取り組んでみましょう。



ウェビングとは?

まとめるテーマを明確にして中心に書き、そこから連想するものを周囲に書き出して線でつないでいくことで、さまざまな事項の関連を整理することができます。



付せんのように自在に入力!

こちらから実際に試せます

